gitについてのお勉強　byレーザー

issues について

問題点とか課題とかを書いて，リポジトリのアクセス権限ある人で共有．コメントできて，他の issue とリンクも可能

issue が解決したらクローズする．クローズした後でも確認は可能

assignee 機能で issue に担当者を割り振ることが可能（ただし一つの issue に対して一人までしか指定できない）

milestone 機能で issue に締切を設定できる（issue を作る前に期日を決めないとダメっぽい）

label 機能で issue の分類も可能．フィルタリングもできる

連携について

github と slack は連携できるが，github と trello　は連携できないらしい

github で issue を登録，同時に trello で issue と同名のタスクを作成，slack を通じて通知がいって，タスクが完了したら，trello のカードを完了に入れて github の issue をクローズってするのが一般的っぽい

自分たちが使うときもまあこの形で使うのがわかりやすいかな...?

他に何か画期的な案があれば教えてほしいです

あと，たなけが winmerge について触れてたけど，github でも差分チェックはできるっぽいからどうなんかなって

github まだ理解しきれてないところも多いから何か見落としてるかも

winmerge のが便利ならそっちも使ったほうがいいやろうし

以下によく使うと思われるコマンドと流れのせます

コマンドの右にそのコマンドが何を意味してるか書いたけど，一部調べてもよくわからず自分なりの解釈で書いた部分があるので完全には信じないでほしいです

説明してくれてるサイトいろいろ見たけど

<https://backlog.com/ja/git-tutorial/intro/intro1_1.html>

がだいぶわかりやすかったので url 載せときます

追加の流れ

１．git clone [url]　リモートリポジトリのコピーをpc上に作成

２．git init　ローカルリポジトリをpc上に作成

（１，２は最初だけっぽい）

３．git add [ファイル名]　ファイルをコミットできる状態にする

４．git commit -m “[コメント]”　ローカルリポジトリにコミット

５．git remote add origin [url]　リモートリポジトリの情報を追加

６．git push origin master　ローカルリポジトリの変更をリモートリポジトリに反映．この際，ユーザー名とパスワードを問われる

他人が更新したリモートリポジトリを自身のローカルリポジトリに反映

１．git pull origin master

ブランチとマージその１（基本的なやり方）

１．git add [ファイル名]

２．git commit -m “[コメント]”　適当な作業を新たにコミット

３．git branch [ブランチ名]　新しいブランチポインタの作成

４．git checkout [ブランチ名]　これをしないとブランチにコミットを追加できないらしい

　　（git checkout -b [ブランチ名]　このコマンドだと，３，４を同時に行える）

５．１で追加したファイルを編集

６．git add [ファイル名]

７．git commit -m “[コメント]”　コミット

８．git checkout master　マスターブランチに戻る．この時点でファイルは編集前の状態

９．git merge [ブランチ名]　ブランチをマージする．この時点でファイルは編集された状態

１０．git branch -d [ブランチ名]　ブランチを削除

　　git branch　で今どのブランチかがわかる

ブランチとマージその2（並行作業）

１．git add [ファイル名]

２．git commit -m “[コメント]”　適当な作業を新たにコミット

３．git branch [ブランチ名]　新しいブランチポインタの作成

４．git branch [ブランチ名]　新しいブランチポインタの作成

５．git checkout [ブランチ名]　３，４で作成したいずれかのブランチの指定

６．１で追加したファイルを編集

７．git add [ファイル名]

８．git commit -m “[コメント]”　コミット

９．git checkout [ファイル名]　５で指定しないほうのブランチを指定

１０．１で追加したファイルを編集

１１．１．git add [ファイル名]

１２．git commit -m “[コメント]”　コミット

１３．git checkout master　マスターブランチに戻る

１４．git merge [ブランチ名]　片方のブランチをマージ

１５．git merge [ブランチ名]　もう片方のブランチをマージ

１６．１３，１４で競合のあった部分をgitが差分を挿入してくれてるのでその個所を修正

１７．git add [ファイル名]

１８．git commit -m “[コメント]”　コミット

ブランチとマージその3（リモートブランチ）

１．リモートリポジトリにブランチを作成

２．git fetch && git checkout [ブランチ名]　リモートリポジトリのブランチ情報を同期してブランチを指定

３．ファイルを編集

４．git add [ファイル名]

５．git commit -m “[コメント]”　コミット

６．git push origin [ブランチ名]　リモートリポジトリのブランチにプッシュ（ユーザー名とパスワード）

７．git checkout master　マスターブランチに移動

８．git merge [ブランチ名]　マージする

９．git push origin master　リモートリポジトリのマスターブランチに統合

　　マスターブランチに統合されても異なるブランチで作業した情報は残る

とりあえずmsys2でいじれる位置に新しく github 用のディレクトリを作った方がよさげかも

自分が作ってなくてぐっちゃぐちゃになったので...

結構色々調べたつもりではあるけど，何言ってるかわからないところも多くて...

変なこと書いてるかもしれないけどちょっと多めに見てあげてほしいです...

またいろいろ勉強しておきます